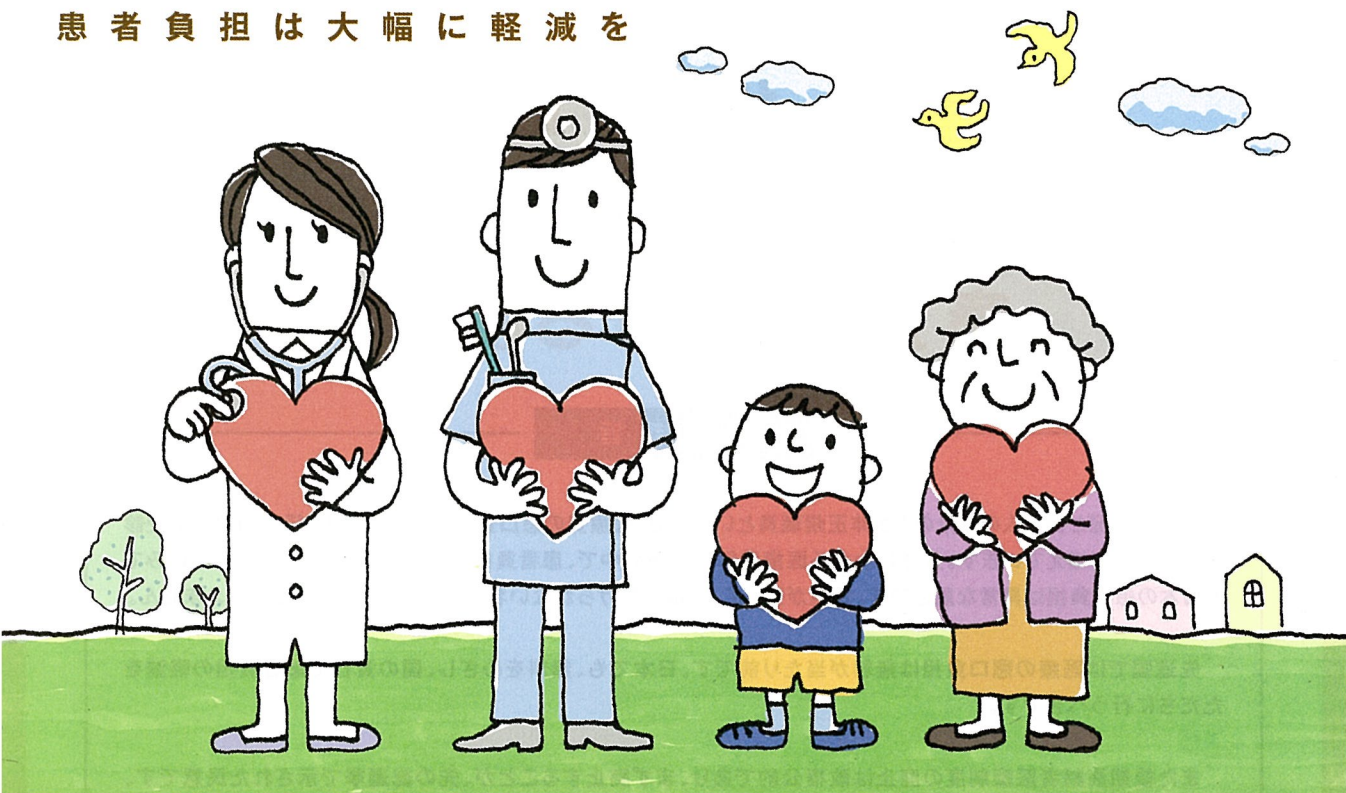


# いのちを守る。

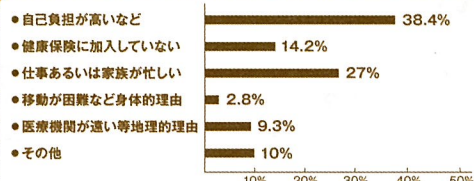
患者負担は大幅に軽減を



## 1 先進国では無料があたりまえ 約100万世帯が医者にかかれない

国の調査では、必要があったのに医者に1年間行かなかった世帯が2%ありました。その理由のトップは「自己負担が高い」です。日本全体では2%は約100万世帯にあたります。

他の先進諸国では、窓口負担は無料や低額がほとんどです。

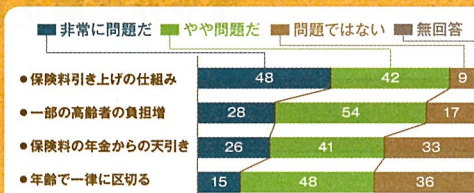


「医療機関に行けなかった理由」国立社会保障・人口問題研究所調査

## 2 公約通り、速やかな廃止を 後期高齢者保険料、4月から値上げも

法律どおりの対応では2010年4月から、後期高齢者の保険料は14.2%もの引き上げとなります。

高齢者の「4年も待てない」の声にこたえ、後期高齢者医療制度は速やかに廃止すべきです。



「日本の医療に関する2010年世論調査」特定非営利活動法人 日本医療政策機構



子どもとお年寄りの窓口負担は無料に、現役世代の3割負担は、せめて2割に、今すぐ改善すべきです。



高齢者医療の充実のためには、国民健康保険への国庫負担を増やし、国保財政を立て直す必要があります。

国の負担で日本の医療を立て直すため、署名にご協力ください

# 患者負担大幅軽減、 後期高齢者医療制度の 廃止を求める請願

## 請願趣旨

深刻な不況と働く人の3分の1が非正規職員という下で、医療費の窓口負担を払えない人、経済的理由で受診を控える人が増えています。長年にわたる医療費抑制政策の中で、患者負担が次々引き上げられ、国際的にみても日本の患者負担は異常な重さです。負担が重くて、医療を受けられない状態では、国民皆保険とはいえません。

先進国では医療の窓口負担は無料が当たり前です。日本でも、無料をめざし、国の責任で患者負担の軽減をただちに行うべきです。

また後期高齢者医療制度の廃止は政権公約であり、まず廃止することが、先の総選挙で示された民意です。少なくとも廃止までの間、国の責任と負担で保険料の引き上げ等を行わないなどの措置をとるべきです。

私たちは、以下の事項の実現を求めます。

## 請願項目

- 一、患者の窓口負担を大幅に軽減して下さい。
- 一、高齢者を差別する後期高齢者医療制度は速やかに廃止して下さい。

お名前	ご住所